

事業所名

多機能型事業所 キッズゆうゆう  
(放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

令和7年

12月

29日

法人(事業所)理念		心を育てる(EQ)療育の土台を作り、子どもたちが持っている力を引き出し、社会で生きる力に変えていく支援をします。										
支援方針		子どもの日常生活・社会生活において、必要な動作・知識・行動が身につくように支援をします。また、支援を行う際に子どもの心身の状況並びに環境に応じて、一人ひとりの最適な十人十色療育を模索し、トレーニング・指導を行います。										
営業時間		10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容												
本人支援	健康・生活	毎日の検温、手洗い、うがいを実施し、健康状態を管理していきます。健康な心と身体を育て安全な生活が送れるように支援をしていきます。SST(ソーシャルスキルトレーニング)の中で、身だしなみ・食事マナー・睡眠の管理等生活リズム等を身につけられるように支援していきます。										
	運動・感覚	手指の運動や視覚の運動をそれぞれの特性に合ったトレーニング、制作やクッキングを通して様々な感覚を養い、その成長を支援していきます。また、心のリフレッシュも含め地域の体育館等でレクリエーションやスポーツをすることで気持ちやテンションのコントロールにつながると思います。地理感覚と下肢筋力等の体力を高めるためにウォーキングを実施しています。										
	認知・行動	当日の日付、曜日、行動のスケジュールを感覚で分かるように提示し、時にはタイマー等で場面切りかえを促します。 嫌なことも頑張る、相手の話をよく聞く、姿勢を正す、課題に向かう学習姿勢を支援していきます。 何もなくて暇な時間が辛く感じる子どもさんもありますが、余暇の過ごし方、待つ時間をどう過ごすか一緒に考えていきます。										
	言語 コミュニケーション	暴力や暴言など社会的に不適切とされることは、周りを傷つけます。自分も周りも大切にすることを学び、言葉だけではなく、絵カードやジェスチャー等子どもに合った方法を一緒に考えます。また、読み書き能力の向上のため、一人ひとりの能力に応じた器具を活用し、1対1での支援をします。										
	人間関係 社会性	ソーシャルスキルトレーニングを用いて、学校生活の中で友人関係や適切な場面对応等、次のステップに上がれるように将来を目指して、挨拶・ルール・マナー・礼儀、とくに「ありがとうございます・ごめんなさい」等、社会生活で活躍するスキルを身につけます。 集団生活での人間関係を築くため、自分を理解・他者を理解する力を養い、相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように一緒に考えます。										
家族支援		保護者の悩み(子どもとの接し方や将来への不安等)を抱え込まない事、不安に気付かない事等に対して、ペアレントトレーニングや相談に応じます。 ・保護者との定期的な面談を行います。 ・年に数回に保護者会の実施(要望や企画に沿って保護者同士のつながりを密にし、安心して子育てができるようにサポートします。)				移行支援		ライフステージを見据えて(小・中・高・社会等)集団生活に必要なスキル(挨拶・学習姿勢等)を学んでいきます。 入学前より卒業・将来のことを考え、学校と定期会議や話し合いをします。(学校見学・関係機関等とのサポート支援会議・ノートや電話での情報交換等)				
地域支援・地域連携		子どもたちの感じる・受け止める心(感受性)・柔らかな心を育てる。また、社会のルールやマナーの実践のため、工場見学・図書館・展覧会それに公共交通乗車等の社会体験を積み重ねています。				職員の質の向上		将来を見据え十人十色を意識し支援できるよう事業所内研修や外部研修に積極的に参加しています。日々の利用児の情報共有や支援内容の提案など、職員一人ひとりが関わっています。また、職員のメンタルケア・悩み相談等、職員も大切にしている取り組みも行っています。				
主な行事等		1月子どもカフェ 2月男性料理教室 3月保護者会・カフェ報告会 4月お花見ウォーキング・体育館レク・クッキング 5月いちご狩り・美保基地航空祭 6月体育館レク 7月公共交通機関の利用 8月保護者会・社会体験 9月集団制作 10月ハロウィンレク・大学祭見学 11月SSTレク 12月クリスマス会・集団SST 1月図書館 2月アイススケート・クッキング 3月保護者会										

事業所名

多機能型事業所 キッズゆうゆう  
(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

令和8年

1月

5日

法人（事業所）理念		心を育てる(EQ)療育の土台を作り、子どもたちが持っている力を引き出し、社会で生きる力に変えていく支援をします。										
支援方針		子どもの日常生活・社会生活において、必要な動作・知識・行動が身につくように支援をします。また、支援を行う際に子どもの心身の状況並びに環境に応じて、一人ひとりの最適な十人十色療育を模索し、トレーニング・指導を行います。										
営業時間		10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	毎日の検温、手洗い、うがいを実施し、健康状態を管理していきます。健康な心と身体を育て安全な生活が送れるように支援をしていきます。SST(ソーシャルスキルトレーニング)の中で、絵カードを使用しながら身だしなみ・食事マナー・睡眠の管理等生活リズム等を身に付けられるように支援していきます。										
	運動・感覚	手指の運動や視覚の運動をそれぞれの特性に合ったトレーニング、制作やクッキングを通して様々な感覚を養い、その成長を支援していきます。また、心のリフレッシュも含め散歩や地域の体育館等でレクリエーション、スポーツをすることで気持ちやテンションのコントロールにつながると思います。										
	認知・行動	社会で必要な文字と数字の習得のため、パズル・10分間の読み聞かせを行います。人の話をよく聞き、待つ行動が定着となるように支援していきます。また、空間等の認知が正しく認識出来るように迷路などの認知トレーニングを実施していきます。										
	言語 コミュニケーション	手遊びや絵カード、ジェスチャー等を使いながらその子に合った方法を一緒に考え、コミュニケーションを楽しめられるように支援していきます。あいさつ(ありがとう・ごめんなさいを含む)からコミュニケーションを学び、自分も周りの人も大切に出来るように支援していきます。										
	人間関係 社会性	人にあいさつをすることからはじめ、社会体験や地域交流の際に実践してゆけるように日常から支援していきます。また、幼稚園、保育園等での生活・小学校入学を考え、ルール・マナーを伝えていきます。										
家族支援		保護者の悩み(子どもとの接し方や将来への不安等)を抱え込まない事、不安に気付かない事等に対して、ペアレントトレーニングや相談に応じます。ペアレントトレーニングでは、まず「療育とは何か」を保護者と共に考え、保護者と子どもと一緒に歩むための一歩となるようサポートしていきます。 ・保護者との定期的な面談を行います。 ・年に数回に保護者会の実施(要望や企画に沿って保護者同士のつながりを密にし、安心して子育てができるようにサポートします。)				移行支援		ライフステージを見据えて(幼保・小・中・高・社会等)集団生活に必要なスキル(挨拶・学習姿勢等)を学んでいきます。入学前より卒業・将来のことを考え、学校と定期会議や話し合いをします。(幼保・学校見学・関係機関等とのサポート支援会議・ノートや電話での情報交換等)				
地域支援・地域連携		子どもたちの感じる・受け止める心(感受性)・柔らかな心を育てる。また、人にあいさつをする等の実践のため、散歩・果物狩り等の社会体験を積み重ねていきます。				職員の質の向上		将来を見据え十人十色を意識し支援できるよう事業所内研修や外部研修に積極的に参加しています。日々の利用児の情報共有や支援内容の提案など、職員一人ひとりが関わっています。また、職員のメンタルケア・悩み相談等、職員も大切にする取り組みも行っています。				
主な行事等		1月子どもカフェ 2月男性料理教室 3月保護者会・カフェ報告会 4月お花見ウオーキング・体育館レク・クッキング 5月いちご狩り・美保基地航空祭 6月体育館レク 7月公共交通機関の利用 8月保護者会・社会体験 9月集団制作 10月ハロウィンレク・大学祭見学 11月SSTレク 12月クリスマス会・集団SST 1月図書館 2月アイススケート・クッキング 3月保護者会										